

2008年3月27日  
自民党政務調査会  
経済物価調査会

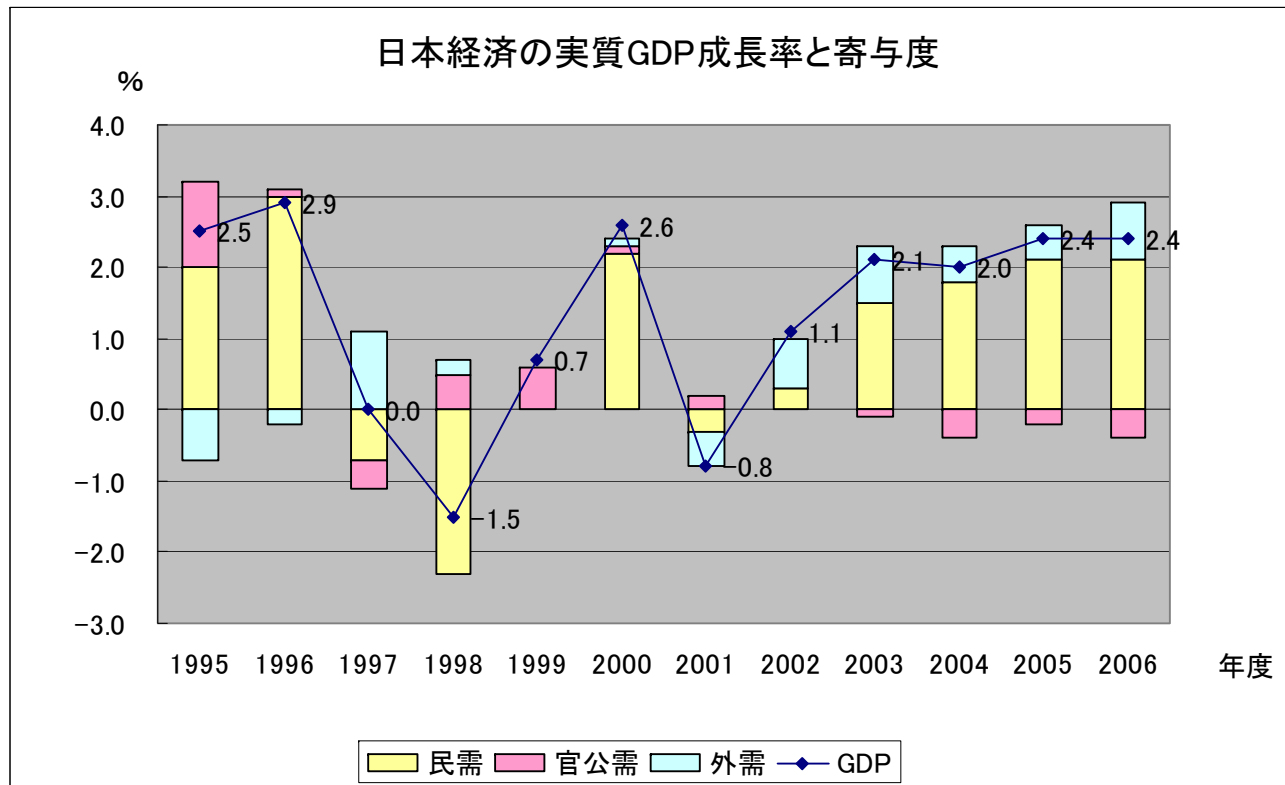
# 新・貿易立国をめざして

[http://www.jftc.or.jp/shosha/publish/2008\\_01\\_foreign.html](http://www.jftc.or.jp/shosha/publish/2008_01_foreign.html)

双日総合研究所  
副所長・主任エコノミスト  
吉崎達彦

# 実質GDP成長率の推移

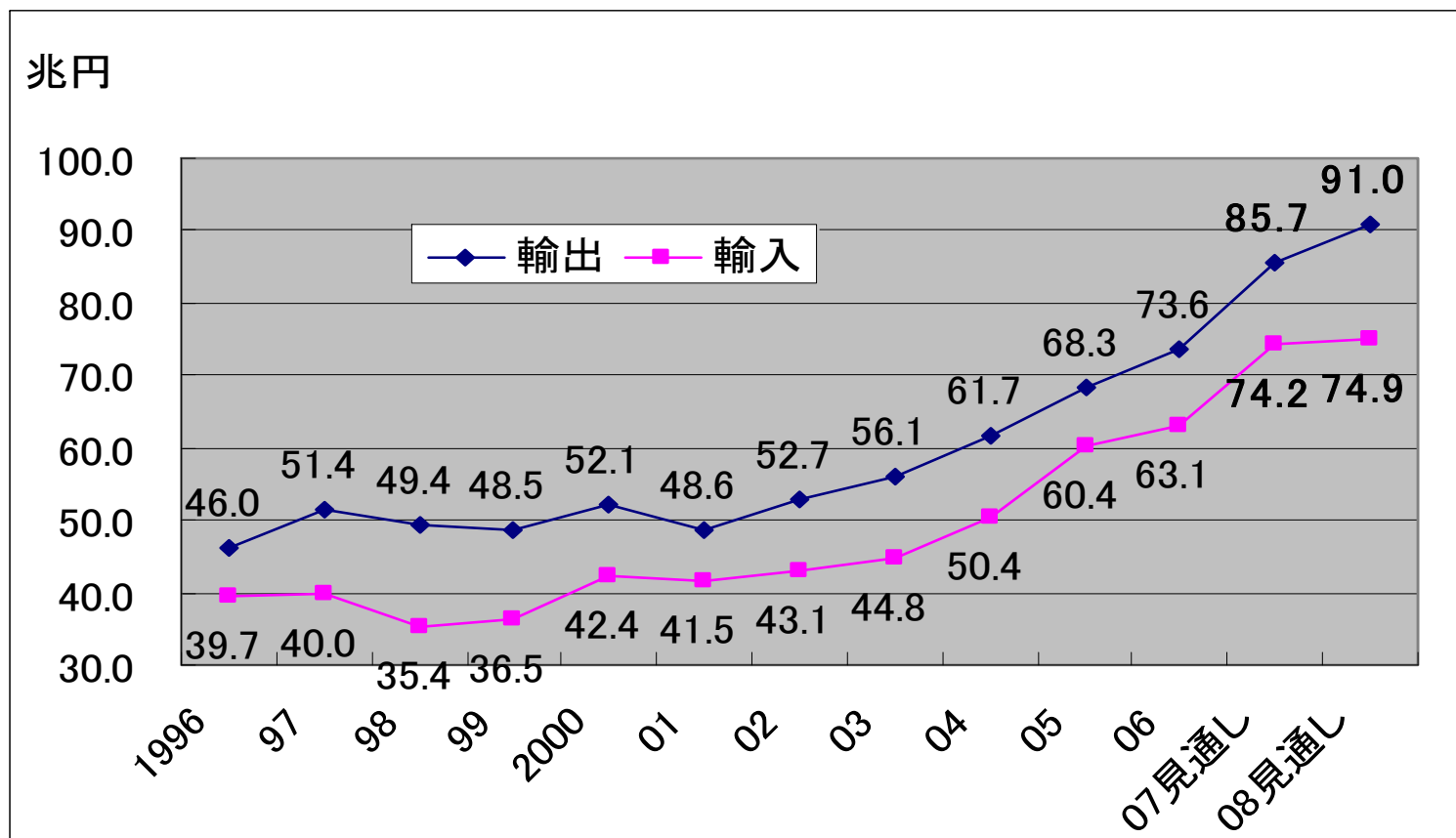
## (外需→民需の好循環)



\* 内閣府、2008年3月12日発表資料による

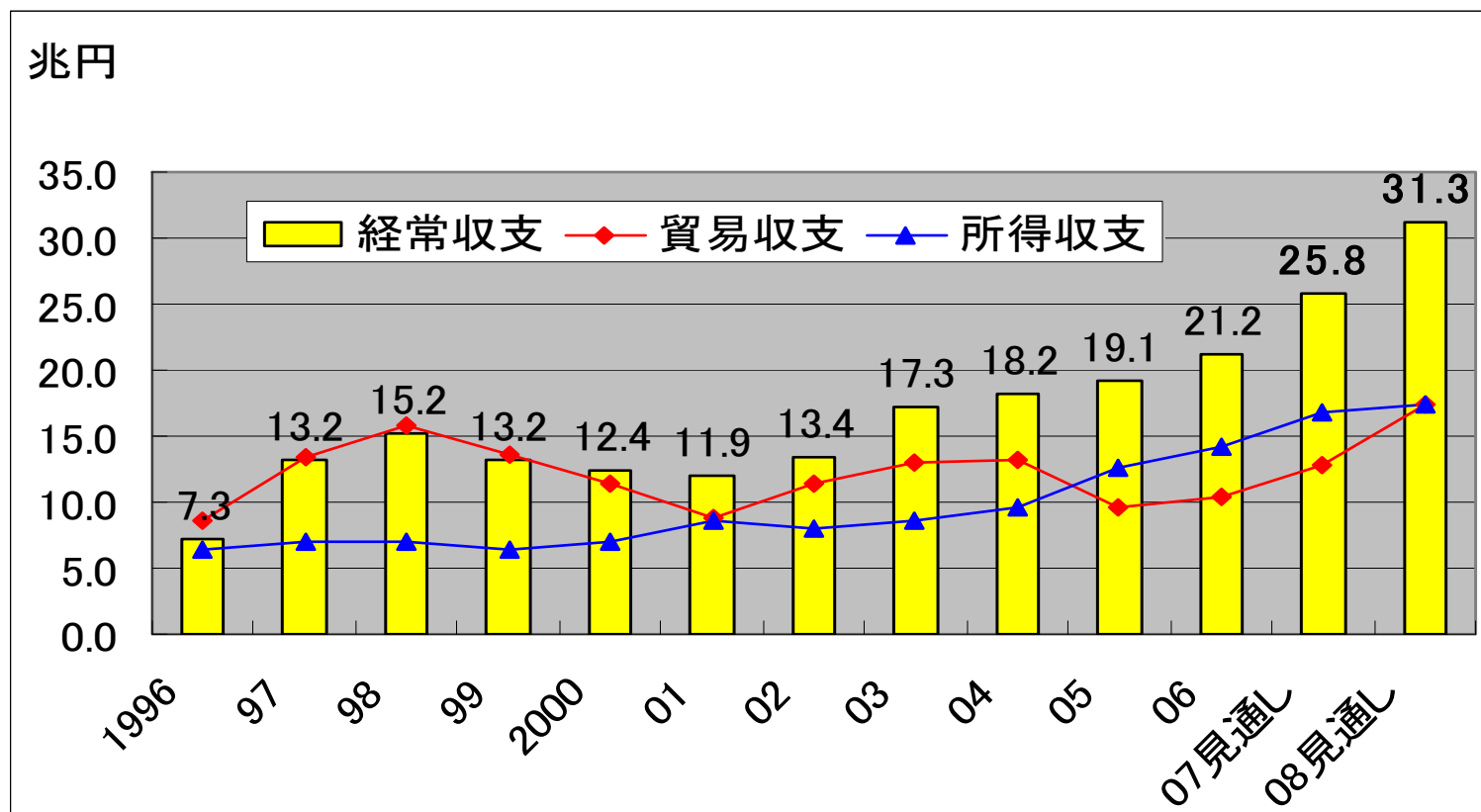
# 貿易動向調査①(通関統計)

<http://www.jftc.or.jp/research/index2.html>



# 貿易動向調査②(經常収支)

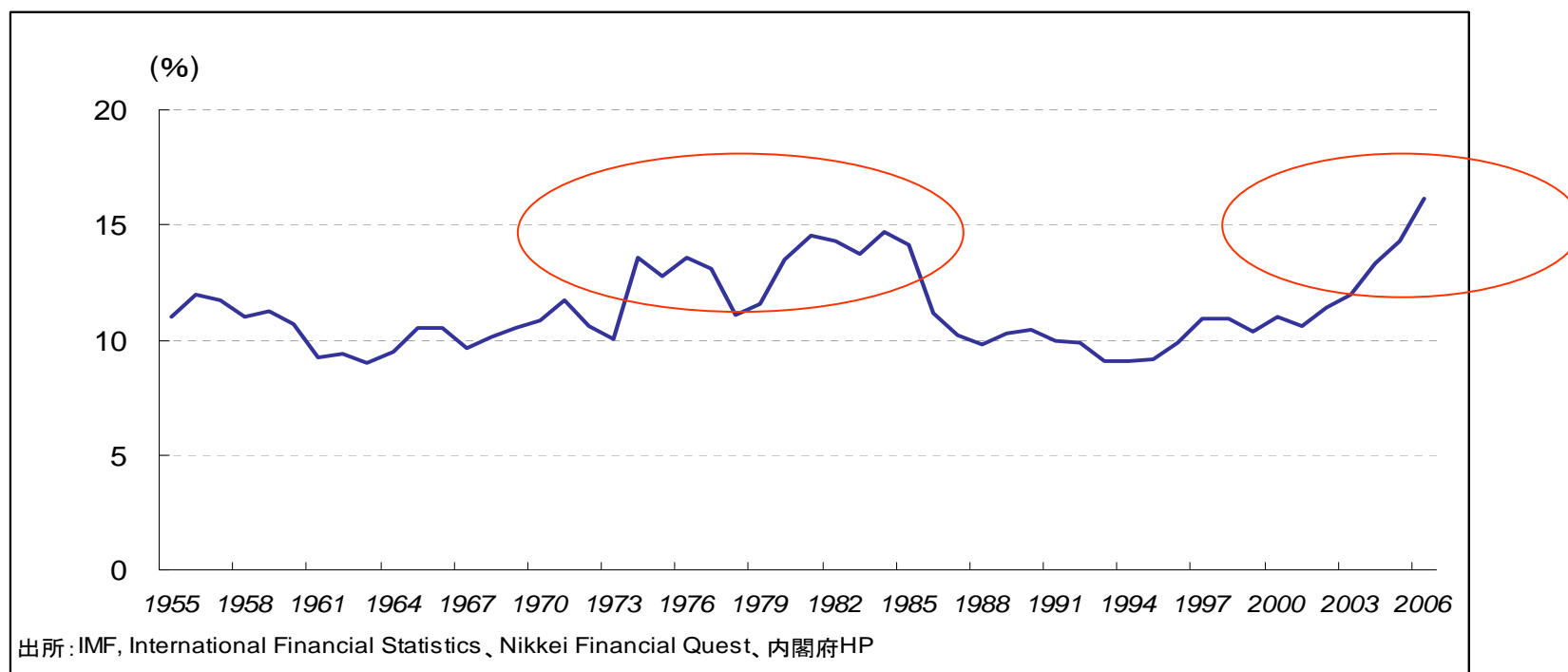
<http://www.jftc.or.jp/research/index2.html>



\* 日本貿易会、2007年12月5日発表

# 輸出依存度の推移

(プラザ合意以前を抜き、史上最高水準に)



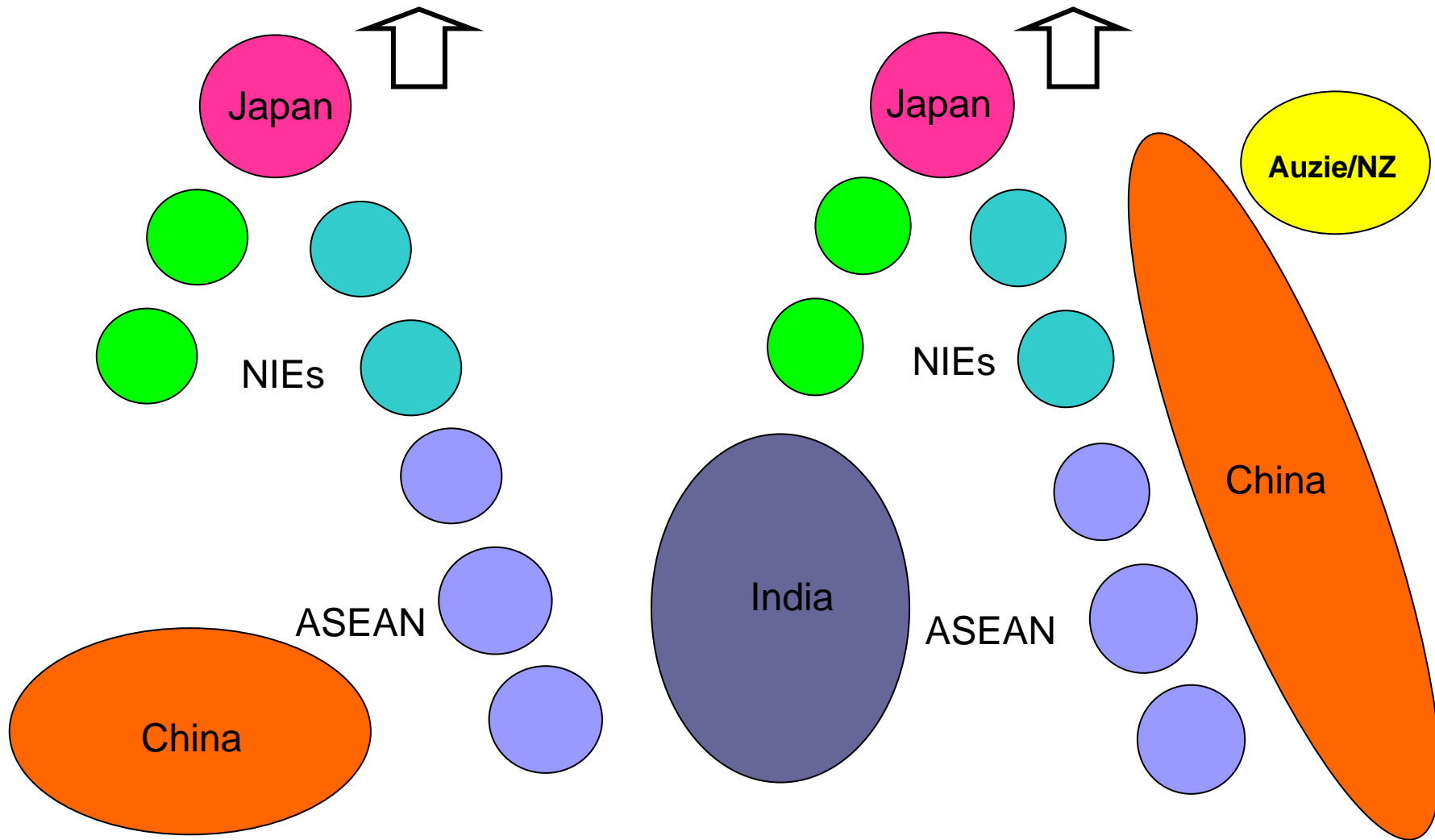
2006年度: 16.4%、1985年4-6月期: 15.1%

## 貿易相手国の変遷～アジア向けが半分

Export	1990	1995	2000	2005	2006
Asia	31.1	43.5	41.1	48.4	47.6
(China)	2.1	5.0	6.3	13.5	14.3
Oceania	4.0	3.1	2.4	2.1	2.6
(アジア太平洋)	<b>35.1</b>	<b>46.6</b>	<b>43.5</b>	<b>50.5</b>	<b>50.2</b>
USA	31.5	27.3	29.7	22.5	22.5
Western Europe	22.2	16.9	17.4	14.8	14.7
Middle East	3.0	2.0	2.0	2.8	3.0
Latin America	3.6	4.4	4.4	4.2	4.7
World	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
Import	1990	1995	2000	2005	2006
Asia	28.7	36.7	41.7	44.4	43.7
(China)	5.1	10.7	14.5	21.0	20.5
Oceania	6.3	5.5	4.7	5.4	5.4
(アジア太平洋)	<b>35.0</b>	<b>42.2</b>	<b>46.4</b>	<b>49.8</b>	<b>49.1</b>
USA	22.4	22.4	19.0	12.4	11.8
Western Europe	18.2	16.2	13.6	12.4	11.3
Middle East	13.1	9.4	13.0	17.0	18.9
Latin America	4.2	3.5	2.9	3.1	3.4
World	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
Source: MOF, Japan					

古い東アジア経済のイメージ  
(雁行形態論)

現在の東アジア経済のイメージ  
(雁行+新たな鳥=ASEAN+6)



### 東アジア生産ネットワークの発展

# ネットワーク関係とは何か

## Organization

＝トップダウン形式

- ヒエラルキー組織
- 情報はリーダーに集中
- 官僚主義的弊害

## Market

＝自由放任型


- ✓参入退出の自由、平等
- ✓リーダーの不在
- ✓情報の蓄積がない

## Network

＝説得と誘導による合意

- ◆協力と競争、柔軟な関係
- ◆明確なリーダーの不在
- ◆情報は各人が分散処理





## 結論：貿易から見る日本経済は明るい (マネーよりもモノの動きに注目を)

- いわゆる「デカップリング論」の可能性
  - 東アジア経済は当面、堅調に推移
- 日本の「モノづくり」の強みは健在
  - 水平分業で国際競争力向上
- 新興国は日本製品の良い顧客に
  - メイド・イン・ジャパン信仰はクルマから食品まで



## 課題：新・貿易立国への条件 (少子高齢化時代へのソリューション)

- 「開かれた国」であり続けること
  - 貿易・投資への保護主義は最悪の選択
- 重要性を増す東アジアFTA(EPA)構想
  - ASEAN+6の経済統合推進を
- 資源や食糧の輸入戦略を
  - 相対的に低下する日本のBuying Power